

事務事業名		地域リハビリ推進事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		福祉課		事業種別	政策	開始	2	終了	
H28係等名		H28係等名 障害福祉係		H27係等名		障害福祉係			
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
		施策	34	障害者福祉の推進					
目的	対象(誰・何を)	1 在宅及び施設の身体障がい児・身体障がい者 2 保育・幼稚園児や修園前で発達に支援が必要な子供 3 在宅及び施設の要介護者要支援認定者						指標名及び単位	27年度数値
	意図(どういう状態にするか)	1 障がいや要介護の状態になっても、機能回復、維持から健康で人間らしい生活を取り戻す 2 育てにくさや発達のつまずきの改善から健康で良好な発達と子育てを促す						リハビリ相談、療育相談等を対象となる在宅の身体障がい児者数(人)	830
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して地域で日常生活が送れている割合						要介護者要支援認定者数 5,639(H19/9/1現在)+1、2級の身体障がい者数272(統計より在宅者数を推計 (人))	6080
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	地域リハビリテーション支援を受けた在宅及び施設の発達障がい児+身体障がい児者+要介護要支援認定者数の延べ数+関わる人の延べ人数			5600	5452	4000	5362	
	成果指標	意図を達成するために地域リハビリテーション力を向上させる講習会等の参加者数+施設・在宅等で指導を受けた延べ人数			2200	1525	2500	1648	
定性目標									
事業概要	0歳から高齢者まで、安心して健康で人間らしい在宅・施設生活を送るために、身体機能にとどまらず、精神面・環境面も含めた総合的リハビリテーション支援を対象者だけでなくそこに関わる家族・介護スタッフ等にも行う。介護を受ける状態になっても、自立しQOL(生活の質)を高めるための身体、精神、環境を含めた総合的リハビリテーション支援を行う。地域におけるリハビリ力・介護力・子育て力を高める目的で地域力を高めていく。								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 地域リハビリテーション事業 (1) 居宅や施設におけるリハビリテーション指導 (2) 介護予防者等の評価・指導 (3) 介助法の指導 (4) 住宅改修・補装具相談ほか				1 事業延べ人数 2 事業延べ人数 3 講座延べ人数 4 セミナー開催数		1 3,465人 2 1,867人 3 1,648人 4 3回		
	2 早期発見、早期療育相談事業 発達健診等リハビリテーション指導及び療育相談(保育園、小学校ほか)								
	3 ノーマライゼーション推進事業 (1) 地域リハビリ力向上のためのリハビリテーション講習会 (2) 発達障害を地域で支える研修会 (3) 子育ての講演会の開催 4 ポジショニングセミナー開催への支援 運営団体へ支援								
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		843	2,288	971	1,088	(そ) 諸収入			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		843	2,288	971	1,088				
一般財源									
人件費計(千円)②		10,728		7,152					
正規職員所要時間		3,000		2,000					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		11,571	2,288	8,123	1,088				
事業内容・目標達成状況の振り返り	地域リハビリテーションの関わりから、地域の意識に大きな変化が見られてきている。								
改革改善の考え方	①問題点	障害の早期発見、早期治療、予防活動が重要であり、多方面(福祉、医療、保健、教育、労働)での関係機関等との連携が重要であり、その体制(専門職員の増員)、強化が必要となってきている。							
	②改革提案	障害者計画の中でも重点事業であるため、今後、事業費は微増していくと考えられるが、受託事業収入の単価を見直すなど、特定財源の確保に努めていく。							